

働きやすい都市

筑西市



新型コロナウイルス感染症が流行し、テレワークやオンライン会議の推奨など、働き方に変化が見られるようになりました。自宅やその周辺で効率良く働くためには、福祉や保育、交通などの生活サービスが充実していることが求められます。そこで、多様な働き方や生活を実現できる、人口10万人都市が注目されています。

日本経済新聞社と東京大学で各種都市データを集計し、多様な働き方が可能な特徴を点数化したところ、主要287市区の中で、筑西市は23位に位置づけられました。ここ1、2年で市内に事業拡大・進出をした企業に、「筑西市で経営するメリットはどこにあるのか」お話を伺いました。

筑西市が選ばれる理由はこんなこと！

四季を通じて気候が安定している

筑西市の気候は太平洋型で、四季を通じて穏やかです。真冬でも物流に支障が出るような大雪はなく、年間平均気温は約14℃と過ごしやすい気候です。また、鬼怒川・小貝川・勤行川（五行川）が流れ、水と緑に恵まれています。

災害のリスクが低い

土地がほぼ平坦で、地盤も安定しているので、直下型の地震が発生するリスクが低いとされています。平成23年の東日本大震災のときも、大きな被害はなかったと話す企業もあり、さらに洪水などの災害対策が順次進められ、鬼怒川の堤防が概成しました。

交通の便が良い

東西方向に国道50号、南北方向に国道294号、北関東自動車道や圏央道などの関東の主要な高速道路網も整備されています。鉄道は東西にJR水戸線が走り、南には関東鉄道常総線、北には真岡鉄道真岡線が運行されるなど、県西地域の交通の要衝となっています。

新規参入企業への優遇制度

筑西市では工場立地に関する奨励措置を独自に設け、市内の工業専用地域に新たに事業所などを設置した事業者に対し奨励金を交付しています。また、敷地を有効活用できるように、緑地率の緩和措置を設けるなどの施策も実施しています。

(株)セイワ食品

【本社】筑西市舟生
【事業内容】チョコレート加工品の製造
【従業員数】125人
(市内工場・パート社員含む)



長津正則 代表取締役

チョコレート人生という、種を蒔く

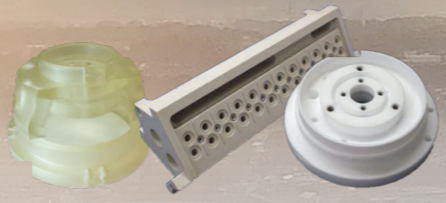
昭和56年創業以来、チョコレート加工品を中心とした製造を行っています。昨年8月には「つくば第二工場」を新設することができました。「顧客に信頼され満足される安心・安全な製品を作ろう」が創業当時の食品安全目標で、現在も徹底した品質管理に取り組んでいます。

筑西市は、土地が平坦で、地盤も安定しています。東日本大震災のときも、大きな被害はありませんでした。災害に強いまちだと改めて感じ、安心して工場を新設できました。



令和2年8月、筑西市舟生に新設した「つくば第二工場」

に、多くの提案を行うことが使命と感じています。今後とも、安全・品質・衛生管理の確保に努めるとともに、資源・環境保護への対応など、時代のニーズに合わせた事業展開を図り、社員一丸となって、弛まぬ努力を続けていきます。



(株)大実製作所

【本社】東京都品川区
【事業内容】産業機器向け切削加工組及び組立などの部品受託加工
【従業員数】93人 (うち筑西工場 12人)



大屋充徳 代表取締役社長

「人の和」全ての人に、大きな実りを

昭和37年に私の父、大屋勝が創業し、樹脂の「切削機械加工」を中心に、総合プラスチック加工を行っています。

令和元年10月に、筑西市に工場を建設することができました。筑西工場では、樹脂リサイクル材を焼却処分する際に出る「熱」を利用し、新たな事業として、トマト栽培も行っていく予定です。今では幅広く事業を展開できるようにになりましたが、これまでたくさんの苦労もありました。



令和元年10月、筑西市小川に新設した「筑西工場」

昭和63年、バブルが崩壊して仕事に激減した際、新たに営業部を作り、新規顧客獲得のため2・3年走り回りました。徐々に顧客が増え、顧客が新たな顧客を呼び「人

の和」の大切さを感じました。振り返れば、節目節目でたくさんの人に助けられました。筑西市のみなさんはとても人柄も良く、真面目に働く姿が印象的でした。これからも、お客さんを含め、全ての人に大きな実りをもちたいことができればよう挑戦し続けます。